

事業成果報告書

[取組 I] 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 鹿児島県教育委員会
2. 取組の名称 : 平成27年度「小中一貫教育推進事業」
3. 事業の実績

(1) 事業のねらい

校種間の移行を円滑にするための具体的な方策等に関する実践的研究をモデル地域（6市町）において進めるとともに、その成果普及により、本県における学校段階間の連携や小中一貫教育の一層の推進を図る。また、県総合教育センターや県教育委員会教職員課及び大学等との連携により教員研修のモデルプログラムを開発するとともに、教員採用・人事交流等の在り方の改善を図る。事業推進に当たっては、県内外の有識者等をメンバーに加えた「県小中一貫教育推進協議会」を組織し、客観的な評価も取り入れながら計画の具体化を図っていく。

(2) 事業の実施状況

○モデル地域、モデル校の委託を行った。
○県小中一貫教育推進協議会委員の選任並びに協議会を設置した。
○県小中一貫教育推進協議会や県小中一貫シンポジウムを開催した。
○県外の先進地（広島県、神奈川県、京都府）を視察し、学校の取組並びに行政の指導について研修を行った。
○県小中一貫教育連絡協議会との連携を図り、次年度からの連携について協議した。

(3) 事業の成果

○モデル地域6市町と大学（有識者）、関係教育事務所、県総合教育センター、県教育委員会との間で県小中一貫教育推進協議会を設置し、研究推進のための体制整備ができた。
○小中一貫教育鹿児島県連絡協議会と次年度の取組について協力体制の構築ができた。
○県小中一貫教育シンポジウムを開催し、小中一貫教育の基本的な考えや小中一貫教育の進め方について、県下全域に情報発信ができた。
○市町村における小中一貫教育の推進に当たり、市町村の準備の在り方についての事例を示せた。

(4) 今後の取組予定

○モデル地域の実践的な取組について有識者からの指導助言を受けながら、本県の実態に応じた小中一貫モデルを作成する。
○鹿児島県としての小中連携、小中一貫教育の在り方について、モデル地域の研究・実践をまとめ、県内に発信し、取組を推進する。
○他府県の先進的な取組を参考に、小中一貫教育に関する教職員の研修プログラムを作成する。

4. 取組Ⅰの実績

(1) 取組のねらい

本県における小中一貫教育推進体制を構築し、モデル地域における取組を支援する。また、小中一貫教育に取り組んでいる小中一貫教育鹿児島県連絡協議会との連携を図りながら、取組の成果と課題を共有し、地域の特性に応じた小中一貫教育の在り方を検討する。モデル地域の取組については、随時、県下の市町村に情報提供し、取組の拡大を図る。

(2) 取組Ⅰの実施状況（平成27年度）

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・国との事業契約 ・協力市町との委託契約 ・小中一貫教育鹿児島県連絡協議会主催「小中一貫教育フォーラム」への参加
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回県小中一貫教育推進協議会開催
12月	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地研修視察計画 ・モデル地域取組状況視察
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地研修視察（広島県、神奈川県、京都府訪問） ・県小中一貫教育推進協議会連絡会実施 ・県小中一貫教育シンポジウム開催 ・モデル地域取組状況視察
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業まとめ

(3) 取組の成果

- ・モデル地域における次年度からの取組に向けて、教育課程作成の支援ができた。
- ・小中一貫教育シンポジウムを開催し、県内におけるモデル地域の取組状況や先進地の状況について情報提供したことで、モデル地域以外の市町村においても小中一貫教育に取り組んでみたいという意見が聞かれるようになった。
- ・小中一貫教育の取組が教師の指導力の改善につながることを周知できた。
- ・今年度は、10月以降の取組となり、学校間での児童生徒の交流や職員の交流を通じた指導場面での実践が得られなかったが、取組を開始する前の準備の在り方について、実践的な情報を還元することができた。

(4) 今後の取組予定

- モデル地域での実践的な取組を通して、指導方法改善の具体的な取組を収集し、本県の実態に応じた小中一貫モデルを作成し、県下の市町村に還元する。
- 小中一貫教育鹿児島県連絡協議会と連携を図り、モデル地域での実践とともに取組の成果と課題を共有し、県下にその情報を提供することを通して、小中一貫教育の取組を推進する。
- 他府県の先進的な取組を参考に、小中一貫教育に関する教職員の研修プログラムを作成する。

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	いちき串木野市教育委員会	
Ⅱ-2	南さつま市教育委員会	
Ⅱ-3	鹿屋市教育委員会	
Ⅱ-4	東串良町教育委員会	
Ⅱ-5	南種子町教育委員会	
Ⅱ-6	奄美市教育委員会	

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ-1

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : いちき串木野市教育委員会

住所 : いちき串木野市湊町1丁目1番地

代表者職・氏名 : 教育長 有村 孝

2. 取組の名称 : いちき串木野市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

本市の課題である学力向上と不登校児童生徒0を目指すための一つの方策として、小中一貫教育推進事業を導入し、学習・生活面を中心に家庭や地域との連携をより強化し指導法の改善を行う。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

事前	<ul style="list-style-type: none">モデル校5校依頼校長研修会，教頭研修会で概要説明9月議会補正予算提案
10月	<ul style="list-style-type: none">県小中一貫フォーラム参加小中連携協議会実施（各中学校区～11月）
11月	<ul style="list-style-type: none">校長研修会で概要説明
12月	<ul style="list-style-type: none">教頭研修会で概要説明
1月	<ul style="list-style-type: none">校長研修会で説明及び協議小中連携協議会（各中学校区～2月）全国小中一貫教育サミットin奈良参加小学校6年生，中学校1年生及びその保護者へアンケート実施
2月	<ul style="list-style-type: none">東京都三鷹市連雀学園公開，品川区教育フォーラム参加児童生徒・教職員アンケートの集計・分析小中連携推進協議会開催（モデル校5校の校長・PTA会長）
3月	<ul style="list-style-type: none">小中一貫教育・小中連携協議会活動事例報告書作成

(3) 取組の成果

- 授業連携の強化（モデル校中学校区3回，他中学校区2回以上）
- 小中一貫教育・小中連携協議会活動事例報告書作成
- 英語学力調査県平均以上（鹿児島学習定着度調査 英語 中1 県平均+2.7，中2 県平均+0.2）

(4) 今後の取組予定

- ・ 先進校，先進地域の研修視察
- ・ 小中学校間の相互乗り入れ授業の実施（小学校外国語活動・英語を中心に）
- ・ 小中連携協議会を生かした合同研修（学習の手引・生活の手引の作成）
- ・ 小中合同行事の実施
- ・ モデル校実践の他校への波及（公開研究会の実施）
- ・ 児童生徒・教職員アンケートの実施（時間外）
- ・ 小中一貫教育・小中連携協議会活動事例報告書の作成（時間外）
- ・ 学力調査と相互乗り入れ授業との相関関係分析（時間外）

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ - 2

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 南さつま市教育委員会

〒897-0003
住所 : 南さつま市加世田川畑2627-1
代表者職・氏名 : 教育長・出口 定昭

2. 取組の名称 : 南さつま市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

- 南さつま市小中一貫推進（金峰地区）の策定
- 道徳科における小中一貫カリキュラム及び指導方法の研究
- 小学校英語科に向けた小中一貫カリキュラム及び指導方法の研究
- 地区学校運営協議会の実施

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

10月	<ul style="list-style-type: none">○ 第1回 南さつま市小中一貫教育検討委員会○ 小中一貫教育サミットin三条（新潟県三条市）○ 鹿児島県小中一貫教育フォーラムの実施○ 第1回 金峰地区学校運営協議会
11月	<ul style="list-style-type: none">○ 県小中一貫教育推進会議○ 第2回 南さつま市小中一貫教育検討委員会○ 南さつま市小中一貫教育研究のまとめ報告発表（南さつま市教頭研修会）
12月	
1月	<ul style="list-style-type: none">○ 第3回 南さつま市小中一貫教育検討委員会○ 南さつま市小中一貫教育研究のまとめ報告書提出（市校長研修会）○ 第2回 金峰地区学校運営協議会
2月	<ul style="list-style-type: none">○ 小中一貫サミットイン奈良（奈良市）○ 第4回 南さつま市小中一貫教育検討委員会（教育課程検討）○ 平成27年度鹿児島県小中一貫教育シンポジウム参加
3月	

(3) 取組の成果

- 南さつま市小中一貫推進計画（金峰地区）を策定し，連携型小中一貫教育についての研究実践の方向性が明らかになった。
- 小中一貫した指導方法の研究など，道徳科における実践的研究や今後の自校化に向けた方向性が明らかになった。
- 小学校英語科に向けた基礎的な研究などが進み，小中一貫した指導方法の方向性が明らかになった。
- 地区学校運営協議会を2回実施し，各学校及び金峰地区全体の支援体制について話し合いを行うことができた。

(4) 今後の取組予定

- 南さつま市小中一貫推進計画（金峰地区）をもとにした，教育課程（生活の心得・学習の躰・学校行事等）の統一や乗り入れ授業・教職員の合同研修会等の実施
- 道徳科における実践的研究
- 小学校英語科に向けた基礎的研究
- 地区学校運営協議会の充実と各学校の支援体制の推進

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－３

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 鹿屋市教育委員会

住所 : 〒893-8501
鹿児島県鹿屋市共栄町20-1
代表者職・氏名 : 教育長 中野 健作

2. 取組の名称 : 鹿屋市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

各学校の課題解決を図るための有効な方法としての小中一貫教育の在り方を、モデル校での実践的研究を通して明らかにするとともに、その成果の普及により、学校段階間の連携や小中一貫教育の一層の推進を図る。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

10月	小中一貫教育を推進するための体制の構築 ・先行実施するモデル校の指定（2中学校区） ・小中一貫教育フォーラムへの参加
11月	・小中一貫した学習指導・学業指導・生活指導等の共通実践事項の作成 ・小中一貫教育の質の向上のための効果的な教職員研修
12月	・小中一貫教育カリキュラム（全体計画）案の作成
1月	・小中一貫教育の質の向上のための効果的な教職員研修 ・学校教育実践発表会での発表
2月	・小中一貫教育の成果・課題の把握のための児童生徒・教職員・保護者等へのアンケートの実施 ・教職員の負担軽減に関する調査研究 ・先進地研修視察（八王子市、品川区の小中一貫教育について）
3月	・鹿屋市小中一貫教育研究推進協議会 ・小中一貫した学校評価指標・様式の作成、小中一貫教育の成果・課題の可視化方策の研究

(3) 取組の成果

- 1 花岡学園と上小原小・中学校をモデル校として指定するとともに、「小中一貫教育全国フォーラムin三条」にモデル校から3名を派遣し小中一貫教育の今後の動向等について研修を行った。また、小中一貫教育研究推進委員会で、小中一貫教育全体計画の確認及び小中一貫教育スケジュール、組織体制づくり等について協議することで小中一貫教育推進に向けた体制づくりができた。
- 2 1月27日（水）に開催された学校教育実践発表会（約230名参加）において、小中一貫教育の必要性とそのあり方、今後の方向性について発表を行うことができた。

(4) 今後の取組予定

- 1 小中一貫教育の成果・課題の把握のための統一した学力・学習状況等の調査（市内全小中学校でNRT学力検査を実施）
- 2 9か年を見据えた教育課程・年間指導計画・教科系統表の作成
- 3 学びの連続性を重視した計画的・体系的な授業や異学年交流活動の企画と実施
- 4 小中一貫した学習指導・学業指導・生活指導等の共通実践事項の実践
- 5 地域の教育力や特性を活かした教育計画の見直し
- 6 小中一貫教育の質の向上のための研修（講演会や研修視察等）
- 7 鹿屋市小中一貫教育ガイドブック及び啓発ポスターの作成
- 8 学校教育実践発表会等での研究成果の発表及び還元

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－４

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 東串良町教育委員会

住所 : 鹿児島県肝属郡東串良町川西
1543番地
代表者職・氏名 : 教育長 別府俊昭

2. 取組の名称 : 東串良町小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築に向け、小中一貫教育推進事業を通じて、子供の成長に応じた小・中学校間の円滑な接続のための取組を推進する。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

10月	ア 小中一貫協議会、小中一貫教育推進会議、小中一貫教育研究会の設置に係る検討 イ 管理職研修会における教育課程大綱策定 エ 小中合同防災教育研修会の実施
11月	イ 管理職研修会における教育課程大綱策定 エ 体育指導法研修会、小中合同防災教育研修会
12月	ア 小中一貫教育推進会議における小中一貫教育推進計画の検討、小中一貫教育推進協力者会議（地域教育会議）の設置検討、鹿児島大学・原田准教授による講話 ウ 算数・数学共通テストの分析、小中一貫教育研究会における算数・数学科一貫カリキュラムの検討 エ 外国語指導法研修会の実施 カ 小中合同地域ボランティア活動の実施
1月	ア 小中一貫教育研究会による小中共通実践事項「東串良の子育て」スタンダードに対する評価 ア 町広報誌による保護者や地域への小中一貫教育の推進に係る広報 エ 第10回小中一貫教育全国サミットへの出席（先進的な取組に対する研修機会の設定） エ 町内全教職員参加の小中一貫協議会及び相互授業参観の開催、小中一貫教育の推進についての合同研修等

2月	<p>ア 各学校だよりによる保護者等への小中一貫教育の推進に係る広報</p> <p>イ 管理職研修会における教育課程大綱策定、次年度計画の検討</p> <p>ウ 県小中一貫教育シンポジウムにおける作成状況報告</p> <p>ウ 先進地視察（宇治市教育委員会訪問による小中一貫カリキュラム作成及び施設分離型一貫校の取組等に対する研修機会の設定）</p> <p>エ 小中合同防災教育研修会の実施</p> <p>カ 小中合同英語活動・英語スピーチ大会の実施</p>
3月	<p>ア 町広報誌による保護者や地域への小中一貫教育の推進に係る広報</p> <p>ア 町管理職研修会における次年度計画の確認</p> <p>ア 小中共通実践事項「東串良の子育て」スタンダード推進クリアホルダーの全児童生徒への配布</p> <p>オ 中学校教員による音楽科出前授業の実施</p>

(3) 取組の成果

<p>ア 小中一貫教育の推進に向けた体制整備 町内における小中連携の推進組織を整理・統合し、本年度以降の小中一貫教育の推進に係る体制を整備した。（小中共通実践事項を明記したクリアホルダーを作成・配布し、小中一貫教育の基盤整備に努めた。）</p> <p>イ 小中一貫教育の推進に係る教育課程全体計画の策定 義務教育9年間で目指す児童生徒の姿の実現に向けて、現在、2小1中の教育課程全体計画の整理・統合及び設定を管理職研修会等を中心に進めている。検討の過程で、学校教育目標や重点目標を揃えることに加えて、各校の研究テーマに3校共通の視点「つなぐ」を盛り込むことなど、積極的な検討を進めた。</p> <p>ウ 小中一貫カリキュラムの作成 各種学力調査等に現れる本町児童生徒の学力に係る課題の解決に向けて、小中9年間の系統性や連続性を重視した小中一貫カリキュラムの作成に取り組んでいる。1年次となる本年度は、課題が顕著な算数・数学科について各校の教頭や研修係等で組織する小中一貫教育研究会で研究を進めた。具体的には、算数・数学科の中核となる「数学的な考え方」の系統的な指導や目標設定等についての協議を進めた。</p> <p>エ 小中教職員による合同職員研修会の実施 町内全教職員参加の小中一貫協議会及び相互授業参観を開催するとともに、指導力向上を図る合同研修会を計画・実施した。</p> <p>オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施 相互乗り入れ授業については、「魅力ある学校づくり調査研究事業」から継続して本年度も（国語、音楽、体育等を中心に）実施している。次年度以降は、中学校教諭の活用促進を図るため、中学校を会場とした中学校教諭による乗り入れ授業等を計画している。</p> <p>カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（地域生徒会等） 本年度は、6年生を対象とした部活動体験や地域生徒会活動に加えて、芸術鑑賞会や英語活動大会等を2小1中合同で開催し、児童間や児童生徒間の交流を深めている。</p>

(4) 今後の取組予定

【平成28年度】

ア 小中一貫教育推進会議（地域教育会議）の開催，取組状況評価の結果を踏まえた体制や実施計画の見直し

ウ 主に算数・数学科，外国語科についての作成・検討

エ 小中教職員による合同職員研修会の実施（小中一貫教育推進発表会の開催等）

オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（小学6年生の中学校登校日の設定）

カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（部活動体験，地域生徒会活動等）

キ 小中9カ年におけるキャリア教育推進計画の作成

【平成29年度】

ア 小中一貫教育推進協議会（地域教育会議）の開催，取組状況評価の結果を踏まえた体制や実施計画の見直し

ウ 主に国語科，外国語科等についての作成・検討

エ 小中教職員による合同職員研修会の実施（小中一貫教育推進発表会の開催等）

オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（小学6年生の中学校登校日の設定）

カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（部活動体験，地域生徒会活動等）

キ 小中9カ年におけるキャリア教育推進計画の作成

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－５

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 南種子町教育委員会

〒891-3792
住所 : 鹿児島県熊毛郡南種子町
中之上2793-1
代表者職・氏名 : 教育長 遠藤 修

2. 取組の名称 : 南種子町小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

- 「ふるさと南種子町を誇りに思い、自己実現を図る児童生徒の育成をめざす」
- 1 南種子町いじめ防止対策委員会の開催（中1ギャップへの対応も含む）
 - 2 基礎的基本的な内容の定着を図るための各学校におけるR-PDCAサイクルの充実
 - 3 小中連携・小小連携の充実
 - 4 学校応援団の充実
 - 5 各学校における広報活動の充実

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

10月	○鹿児島県小中一貫教育フォーラム（鹿屋市）への参加
11月	○第2回小中一貫教育研修会 （集合学習・交流学习における取組について）
12月	
1月	○第3回小中一貫教育研修会 （9年間を見通した学習のきまり・生活のきまりの検討） ○各小・中学校におけるホームページとブログの開設
2月	○小中一貫教育推進に関する先進地視察研修 （呉市立片山中学校、呉市立警固屋学園） ○南種子町教科等部会・教育講演会の開催 ○南種子町小中一貫教育推進会議の開催
3月	

(3) 取組の成果

- 小小連携を実施する際に略案を作成し、TTによる授業を実践することを確認した。
- 9年間を見通した学習のきまり、生活のきまりについての検討し作成した。
- 各小・中学校にホームページとブログを開設した。
- 先進地視察において本町における小中一貫教育の方向性についての検討した。
- 南種子町小中一貫教育推進会議において町の方針を示し、方向性について協議した。

(4) 今後の取組予定

- 町内8小学校の低、中学年による集合学習の計画と実施(年3回)
- 町内8小学校の高学年による交流学習と乗入れ授業の計画と実施(年3回)
- 南種子町すこやかプログラムの作成
(構造的グループエンカウンター, アサーショントレーニング, ソーシャルスキル)
- みなみたね家庭教育10章の見直し
- 総合的な学習の時間の見直し
- 9年間を見通し, 系統性と連続性を意識したカリキュラムの作成

※[取組Ⅱ]における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－6

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 奄美市教育委員会

住所 : 〒894-0025
奄美市名瀬幸町19番21号

代表者職・氏名 : 教育長 要田 憲雄

2. 取組の名称 : 奄美市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

- 小中一貫教育の推進に向けた体制整備
- 小中を貫く総合的な学習の時間のカリキュラム編成
- 併設校における教師の専門性を生かした乗り入れ授業の工夫
- 教職員による小中一貫教育に係る研修の推進

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

10月	小中一貫教育推進事業の理解と推進体制づくり 管理職研修会における小中一貫教育推進事業の概要説明
11月	モデル校における研究推進に係る指導主事訪問 モデル校における小中合同研究授業研修（指導主事派遣） 学習発表会（合同）、音楽発表会へ向けての合同練習
12月	ロードレース大会の開催（小中合同行事） 奄美市ビジョンアンケートの実施
1月	小中一貫教育全国サミットへの派遣研修（教員，担当指導主事） モデル校における研究推進に係る指導・助言（担当指導主事）
2月	「あまみっ子」ジョイントプランの実施状況調査 管理職研修会におけるビジョンアンケート結果報告
3月	小中一貫教育推進に係る指導主事派遣研修 モデル校における出前授業の実施（中学校教諭による6年生の授業） 平成28年度小中一貫教育推進計画策定 総合的な学習の時間のカリキュラム編成

(3) 取組の成果

- ア 小中一貫教育推進のための学校環境の整備
- イ モデル校における小中一貫教育に係る研修の充実
- ウ 小中一貫した教育課程・年間指導計画の見直し
- エ 小中合同行事での異学年交流の推進
- オ 『あまみっ子』ジョイントプラン（保・幼・小・中連携）の推進

(4) 今後の取組予定

- ア 小中を貫く総合的な学習の時間や創意のカリキュラム編成
- イ 小中一貫教育に係る教職員研修の推進
- ウ 小中一貫教育に関する啓発資料の作成・配付
- エ 自然遺産や島口・島唄等の地域教育素材を生かした小中一貫教育の推進